

施工チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編) 機械設備工事	点検実施日	平成	年	月	日
	点検者名	印			
	施工場所				

名称： 設備全般

1. 施工

- 機器の配置、レベルは水位条件に対して支障がないか。
- 基準レベルは確認したか。(水位関係図との確認等)
- 機器の搬入据付を考慮した配置になっているか。
- 管理動線は機器の点検、修理及び清掃を考慮したか。
- 管理動線を考慮し点検歩廊等の施工を行ったか。
- 管理動線上の危険箇所にトラマーク及び緩衝材を取付けたか。
- 足場の墜落防止措置は適切か。
- 将来機器の開口部等危険箇所はないか。
- 他工事との工程調整を行ったか。
- 関連工事(電気設備、設備工事等)との調整を行ったか。(施工場所、施工区分等)
- 各据付フローチャートでの監督職員の立会検査は受けたか。
- 不可視となる箇所(配筋、アンカーボルト等)は、記録し、写真にメジャーを入れて撮影したか
(配筋ピッチ、アンカー差込深さ、ピッチ等)
- ゲージ類の向きは見やすい位置(管理動線・操作盤より)にあるか。
- ゲージ類の必要な箇所には、管理値(赤色矢印)のマーキングをしたか。
- 配電盤内の接続端子充電部等を防護したか。
- 各心線には、端子記号と同一文字のマークバンドを付け、ケーブルシースには
ケーブル記号並びに配線区間を記入したバンド又は札を付ける。
- 盤内の端子には、増し締め確認のマーキングを施してあるか。
- コンクリート強度試験成績書に施工箇所を明示したか。
- 後施工アンカーの施工記録(施工箇所・メーカー・口径別の穿孔深さ等)を作成したか。
- 水中ポンプ等の副銘板は、水上部にも設置したか。
- 機側盤の開口部(鋼管導入部など)をパテ埋めしたか。
- コモンベース内は、水が滞留しない構造としたか。(モルタル等を流し込む)
- 給脂ニップルは、給脂し易い位置に設けると共に形を統一しているか。

2. 検査前

- 社内検査を行い手直しを完了したか。
- 複数の仕様記載の説明書には、今回仕様にマーキング(矢印)を入れたか。
- 取扱説明書の中に、年次点検表を入れたか。
- 各社オイル比較表並びに使用オイルリストを作成したか。
- 官公庁立会検査は完了したか。また、その書類は適切か。
- 清掃は完了したか。